

中央公園

自然豊かな総合公園に ～住民らの樹木調査にも弾み～

箕面市は如意谷～石丸の山すそに整備計画している「中央公園」について今年度新たに 7000 m²の用地を買い増すことを決めました。「自然を将来に残すための公園に」と運動を進めている住民団体にも大きな弾みとなりそうです。



▲ 樹木の高さや枝ぶりを調査する「大宮寺の森の会」のメンバー

中央公園は「箕面市みどりの基本計画」(平成 16 年策定、23 年改訂)で市中部の緑化重点地区の核として位置づけられています。構想では「大宮寺の森」や「導心ヶ谷池」など 8 つのため池を包み込む東西 1^{キロ}、17.3^{ヘクタール}の広大な総合公園を目指しており、来年度から順次整備に着手する予定です。市は自然環境をできる限り保全した公園づくりを推進するため、構想が持ち上がった当初から市民協働の公園づくりを呼びかけました。



▲ 照葉樹に囲まれた大宮寺池

● 倉田市長も明言

「大宮寺の森の会」(大原とも子会長)はその呼びかけに呼応して 12 年前に結成された住民団体の一つです。15 人の会員は、市が買収済みのこの森が箕面に残る貴重な照葉樹林であることに注目。コジイ(小椎)をはじめヤマモモ、クロガネモチ、サカキ、ヤブツバキなどの植生調査を実施、“木の台帳”づくりを進めています。これまでに樹高 1.3m 以上の樹木ざっと 3,000 本について番号をつけ、名前や分布状態を調査したそうです。「枝張り状態や樹高などまだまだ調査は続きます。この戸籍をもとに 30 年後、50 年後に保全状態をチェックできるようにするのが目的です」と、大原さん。

こうした声にこたえるように倉田哲郎市長も 6 月中旬に開催された市民との対話集会「ほっとミーティング」で「かやの中央から眺めても箕面にふさわしいように自然豊かな公園にしようと思っています。地元の皆さんとも十分相談しながら整備します」と話していました。



◀ 「大宮寺の森の会」のパンフレットを参考にしました



市長賞
第2回

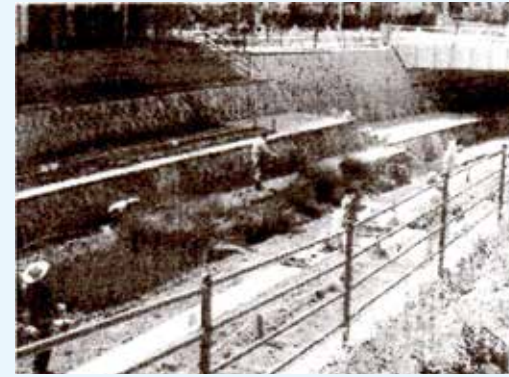
かやの中央まち育て交流会

花とみどりの街角表彰

今回は 10 年前の第2回花とみどりの街角表彰で市長賞を受賞した「かやの中央まち育て交流会」を訪ねました。この交流会はいつも杉本好玄さんら10数人が毎月1回、新都心・かやの中央のさくら橋周辺の千里川せせらぎを約400mにわたって清掃したり除草したりしています。「蒲が穂をつける前に刈らないと流れがよどんで水があふれかねないので…」と杉本さんらは川の中に入り丁寧に刈り取っていました。

おかげで夏本番の周辺一帯のせせらぎではアミでオタマジャクシをすくったり、スルメを餌にアメリカザリガニを釣り上げる子どもたちで大賑わいしていました。

今年は中止になりましたが、例年8月上旬には雑草がきれいに刈り取られた川沿いを“まんどろの火”が練り歩きます。



▲ 受賞当時の千里川

箕面市は、街なかに花とみどりをふやし潤いある都市景観を作ろうと平成15年度から5年間、「花とみどりの街角表彰」を実施しました。

ヘチマ、ゴーヤ、ナタマメ…収穫物味わおう



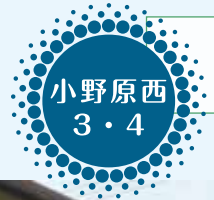
「花壇をつくろう会」 ハーブ、葉草コーナーも



参加希望者は二宗さんまで
(090-1447-7030)

「花壇をつくる会」が上平公園（西宿2）の南側広場にオープンした広場では今、マリゴールドやハーブ、葉草類のほかヘチマ、ゴーヤ、ナタマメなどの実も大きくみのっています。ちかじか収穫して会員みなで味わうそうです。

「ヘチマもゴーヤも沖縄料理風に豚肉、野菜と炒め合わせみそで味付けします。料理法を学びながら収穫物を楽しむのがこの会の特徴です」と会長の二宗忠美さん。毎月第3日曜が活動日。ハーブや葉草は毎回煎じて香りや味を楽しめるそうです。



▲ スノーインサマー

おしゃれな庭の街めぐり

第5回「花とみどりの街めぐり」は6月7日、おしゃれなお宅が建ち並ぶ小野原西3～4丁目一帯で行われました。紫の花びらが可憐なシモツケをはじめテイカカズラ、バイカウツギ、花びらが面白いケイソウがオープンガーデンせましと咲き、梅雨の晴れ間に鮮やかな色を競っていました。また、赤い花のブラシの木もありましたが、スノーインサマーというブラシの木によく似た珍しい白い花の木もありました。なかにはわざわざ庭先へ出てきて説明して下さる住民の方もおられ、20人余りの参加者は花を咲かせる苦労話に聞き入っていました。



▲ シモツケも満開

今回は11月1日(土)の予定です。↓



▲ お仏壇にもアサガオを供えています

情報プラント

「花とみどりの学校」が大人気！ 9月から開校

お花飾りなどで箕面の街を魅力アップする人づくりを目指す第1回「花とみどりの学校」(園芸基礎コース)が9月20日に開校、申し込んだ約30人の市民が学びます。5月から生徒を募集したところ大人気で、20日間余りで予定人数をオーバー。多数が訪れた同月中旬の粟生外院バラ祭で募集ちらしを配布したことが効果をあげたようです。主催する市民組織・同学校運営委員会(委員長: 甲角=こうすみ=裕子さん)では「ぜひ期待に応えたい」と、箕面市のまちなかのみどりの助成を受け、来年7月までに10回にわたり園芸専門家などを講師に講義と実習を行います。なお、同学校では期間中に生徒以外も対象にした公開講座や見学バスツアー(来年5月)を行う予定にしています。



第6回 花とみどりの街めぐり参加者募集！

＊新しい街「彩都」のお宅のお庭をながめながらの街歩き！

2014年11月1日(土) 午後2時

● オレンジゆずるバス 間谷北公園前バス停

(小雨決行)

午後2時～3時半頃解散

〈お問合せ先〉090-5651-0259(佐藤)



NPOフェスタ開催

今年も9月21日(日)から1週間、市内で活動する35の市民団体が参加して「みのおキューズモール(旧ヴィソラ)」でNPOフェスタが開催され、各活動の魅力を市民に伝えます。「みどり」を愛する団体もかなり参加し、特に21日はたくさんの楽しいイベントが企画されています。また、26日(金)午後2時から市民活動センターでパンジーの種まき実習も行われます。(種まき実習は要事前申込 090-9092-3909 上田さんまで)

みどりの掲示板

栗生外院バラ祭 大賑わい



「秋バラはご自由に」10月下旬見ごろ



▲ 北園入り口

5 月に開催された栗生外院バラ祭は、散歩がてらに 2 つのバラ園を鑑賞できるとあって、2 日間で 850 人もの入場者で賑わいました。ピンクのアーチが豪華な北園と、「殿堂バラ」が咲きそろった南園、来園者はそれぞれの趣を堪能されたようです。

一方、秋バラは四季咲きや二期咲き、繰り返し咲きなど品種によって咲く時期や期間がさまざまですが、所有者の久保ノリ子さんは「南北両園とも開放しますのでご自由にご覧ください」と言っておられます。春に比べて気温が低い分、花が長持ちし色がぐんと濃くなるそうです。園芸デザイナー、井野元敏さんの開発した「ブラック・ティ」も本来の濃い茶の花びらをつけるそうです。見ごろは 10 月中旬から 11 月上旬とのことです。



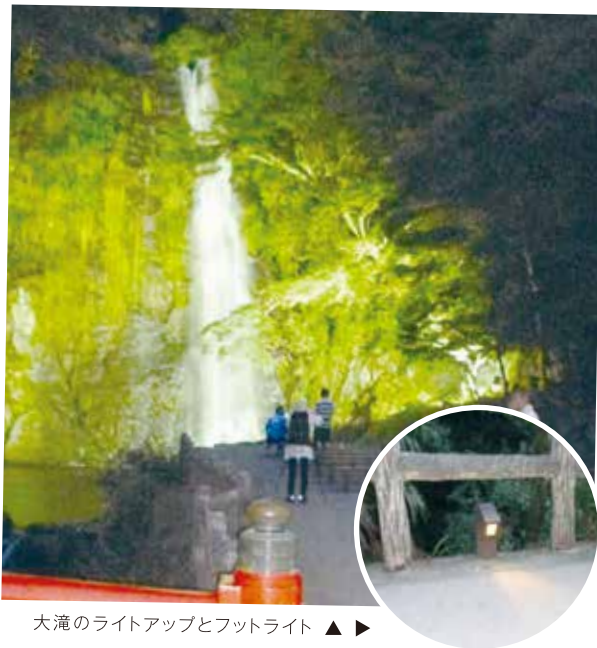
▲ バラファンでにぎわった南園

大滝、幻想的なライトアップ

● 堂にやさしいフットライト ●

箕面の大滝のライトアップが、今年も 7 月中旬から 8 月末まで行われ、見物客は連日、幻想的な納涼感に浸っていました。おとしから LED 投光器をプラズマ化しており、それまでの 5 倍の明るさになりました。その一方で設置場所を半減したため消費電力は以前の 87%削減という「省エネライトアップ」だそうです。

滝道にはところどころにフットライトも取り付けられていますが、すぐそばを流れる箕面川には光がいったい漏れないように工夫されています。ホタルが外灯など人工の光を嫌う習性があるためです。こうした配慮が功を奏したのか、今年も川のあちこちでホタルの群れがみられました。



大滝のライトアップとフットライト ▲ ▶

Column

みどりのカーテンで 残暑も乗り切る

「みどりのカーテン」は今や夏の風物詩と言えますね。

地球温暖化問題が騒がれ始めた頃から、夏の省エネ対策として窓辺にアサガオやゴーヤなどを植えて涼を取る習慣が定着し始め、3・11の東日本大震災以降「みどりのカーテン」が急速に普及しました。家庭だけではなく学校や病院など公共施設でもよく見かけます。

大阪大学に GECS という環境サークルがあり、ゴーヤを使った壁面緑化の普及に努めています。箕面でもシーズンにはゴーヤの苗を市民に配り、その育て方ばかりではなくおいしい料理のつくり方まで教えてくれます。筆者もその苗を庭に植えましたが、省エネ効果を上げようと欲張ってゴーヤを密度高く植えたために葉が茂りすぎ、昼間でも部屋が暗くて電気を付けないと新聞も読めないという失敗をしたことがあります。これではエコにはなりませんね。

みどりが環境にやさしいのは何もカーテンだけではなくありません。家の周りをはじめ、街路や公園などわがまち箕面をもっとみどり豊かなまちにして、環境だけではなく、市民の心も和むようにしたいものです。



／ サポーター
大募集!! ／

「みどりの街しんぶん」は、花とみどりあふれる箕面にしようと、年3回発行しています。近くにこんなきれいな花が咲いているよ、緑のすてきなスポットがあるよ、などの情報をどんどんお寄せください。

情報ご連絡先▶ shimin.puroj.midori@gmail.com 090-5651-0259（佐藤まで）

ホームページ

みどりの街みのお

検索!

このしんぶんは箕面市の「まちなかのみどり支援事業」の助成を受けています。
編集協力：NPO 花とみどりの街づくり・箕面（プロジェクトみどり 改め）

